

令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【大戸小学校】

⑥	次年度への課題と学力向上策
知識・技能	
思考・判断・表現	

①	今年度の課題と学力向上策	
	学習上・指導上の課題	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	<学習上の課題> 国語「話すこと・聞くこと」「書くこと」 算数 基礎的・基本的な知識・技能の向上 <指導上の課題> 個人差が大きく、個に応じた指導の充実や児童の理解を深めるための指導法の工夫改善が必要である。	⇒ 学校や家庭での学習の中でタブレットも含めた問題演習やドリル学習等の時間を確保し、基礎的・基本的な知識・技能の向上に努めていく。(週に1回以上) 1人1台端末を活用した児童主体の授業を行い、成果と課題を共有する。授業で得た知識を実生活に活用できるような活動を組み込んでいくことで、より深く定着できるようにする。(単元に1回以上)
思考・判断・表現	<学習上の課題> 国語「話すこと・聞くこと」「書くこと」 無回答率の減少 <指導上の課題> 自分の考えを整理したり、伝えたりすることに課題が見られる。児童主体の学習活動の機会を十分に確保する必要がある。	⇒ ICTを効果的に活用し、自分の考えをわかりやすくまとめたり、共有したり、発表したりする活動を取り入れていく。(単元に1回程度) 児童が自らの学びを調整し、主体的に学ぼうとする力を育むために、児童にとって必要感のある学習課題や学びの場を設定する。(単元に1回程度)

⑤	評価(※)	調査結果 学力向上策の実施状況
知識・技能		①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
思考・判断・表現		

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能		
思考・判断・表現		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告		中間期見直し
	評価(※)	学力向上策の実施状況	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能			
思考・判断・表現			

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)